

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成 28 年 9 月 26 日

計画の名称		1 武蔵野市下水道計画の推進																	
計画の期間		平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象		東京都武蔵野市										
計画の目標																			
平成20年度に策定した武蔵野市下水道総合計画に基づいた事業を確実に実施し、水害に強い都市を造るとともに水環境に配慮した安心・安全で快適なまちを創造して行く。																			
計画の成果目標（定量的指標）																			
①雨水の流出抑制を図り浸水被害を軽減させるため、浸水対策達成率を50％（H23）から100％（H27）に増加させる。（市内18箇所 22年度末9箇所 23年度以降9箇所） ②合流式下水道改善率を、25.7％（H23）から100％（H25）に増加させる。（貯留槽：2箇所 貯留管：471m） ③分流式の第3処理区（石神井川排水区）の雨水管整備を推進し下水道計画に則った雨水排水を確保するため、雨水管整備率を77.5％（H23）から82.8％（H27）に増加させる。（φ2600 L=500m） ④老朽管きよの延命化を図るため、老朽管きよ再構築率を5.3％（H23）から6.3％（H27）に増加させる。（□3300×2970mm L=874m） ⑤避難所等からの排水を受ける管路及び、緊急輸送道路等下の管路について管きよ継手の耐震化事業を行い、耐震化整備率を78%(H23)から98%(H27)に増加させる。またマンホールトイレの設置を行う。（9校）																			
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考							
									当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)								
①浸水対策率		計画箇所数	18箇所	当初：9/18		中間：15/18		最終：18/18		50.0%	83.3%	100.0%							
②合流式下水道改善率		合流区域面積（第1処理区）S=727ha	当初：187/727		中間：727/727		最終：727/727		25.7%	100.0%	100.0%								
③雨水管整備率		計画延長 L=9,350m	当初：7,244/9,350		中間：7,494/9,350		最終：7,744/9,350		77.5%	80.1%	82.8%								
④老朽管きよ再構築率		計画延長 L=81,990m	当初：4,326/81,990		中間：4,760/81,990		最終：5,200/81,990		5.3%	5.8%	6.3%								
⑤耐震化整備率		計画箇所数169箇所	当初：673/859		中間：791/859		最終：842/859		78.3%	92.0%	98.0%								
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,242 百万円	A	8,199 百万円	B	0 百万円	C	43 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C）		0.5%								
事後評価																			
○事後評価の実施体制、実施時期																			
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期												
							平成28年 8 月												
学識経験者等の第三者により構成された武蔵野市社会資本総合整備計画事後評価委員会を設置し、評価指標の実現状況及び今後の方針等について意見を求める。							公表の方法												
							市ホームページ												
1. 交付対象事業の進捗状況																			
交付対象事業																			
A1 下水道事業事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長、容積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
											H23	H24	H25	H26	H27				
第1処理区																			
1-A1-1	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	新設	浸水対策施設整備（小中学校）	雨水貯留浸透施設 3箇所（V=500m ³ ×2・600m ³ ×1）	武蔵野市	設 置	設 置	設 置			155	浸水対策計画		
1-A1-2	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	新設	浸水対策施設整備（吉祥寺北町1丁目）	雨水貯留施設 V=4500m ³	武蔵野市		設 計		整 備 工 事		1,225	浸水対策計画		
1-A1-3	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	新設	合流改善施設整備（吉祥寺東町4丁目）	合流改善施設 V=1200m ³	武蔵野市			整 備 工 事			583	合流改善計画		
1-A1-4	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	新設	合流改善施設整備（吉祥寺東町1丁目）	合流改善施設 V=8500m ³	武蔵野市			整 備 工 事			3,958	合流改善計画		
1-A1-5	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	新設	合流改善施設整備（神田川排水区）	雨水貯留管 φ1650mm L=398m V=800m ³ 雨水貯留槽 V=200m ³	武蔵野市			設 計		整 備 工 事	739	合流改善計画		
1-A1-6	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	改築	下水道管再構築	H23 長寿命化計画策定委託 管きよ再構築 □3300×2970～4000×2400mm L=482m	武蔵野市	計画策定委託			改 築	改 築	改 築	862	長寿命化支援制度	
1-A1-7	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	-	放流水質フォローアップ調査	H23～H27 放流水質調査（原寺分橋吐け口）	武蔵野市	調 査	調 査	調 査		(交付金対象外)	9	合流改善計画		
1-A1-12	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	-	合流改善事後評価調査	H27 合流改善事後評価調査	武蔵野市					調 査	7	水質保全		
第2処理区																			
1-A1-8	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	新設	浸水対策施設整備（小中学校）	H23 野川排水区浸水被害総合計画策定委託 雨水貯留浸透施設設置 1箇所 V=500m ³	武蔵野市					(交付金対象外) 設 置	4	浸水対策計画		
第3処理区																			
1-A1-9	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	分流	新設	石神井川排水区雨水幹線整備	H26～H28 雨水幹線整備工事 φ2600 435.5m	武蔵野市	基本設計	詳細設計	地上権設定		整備工事(※H28まで)	599			
全体																			
1-A1-10	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流	-	浸水対策事業	浸水予想区域図を作成済（※防災課事業）	武蔵野市					(交付金対象外)	-			
1-A1-11	下水道	一般	武蔵野市	直接	-	合流・分流	-	下水道総合地震対策事業	管きよ継手の耐震化 186箇所 マンホールトイレ設置（※防災課事業）11校×2基	武蔵野市		耐震化	耐震化	耐震化	(交付金対象外) トイレ設置	57	総合地震対策計画		
												合計					8,199		

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						
										H23	H24	H25	H26			H27
																(交付金対象外)
1-C-1	活動支援	一般	武蔵野市	直接		浸水対策	雨水流出抑制対策	雨水浸透施設設置の一部を助成 189件	武蔵野市						43	
										合計					43	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	基幹事業の浸水対策エリア内における、各戸への雨水浸透施設設置の市助成の一部を助成することで雨水浸透施設設置を促進し、雨水の流出抑制及び浸水域の削減を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

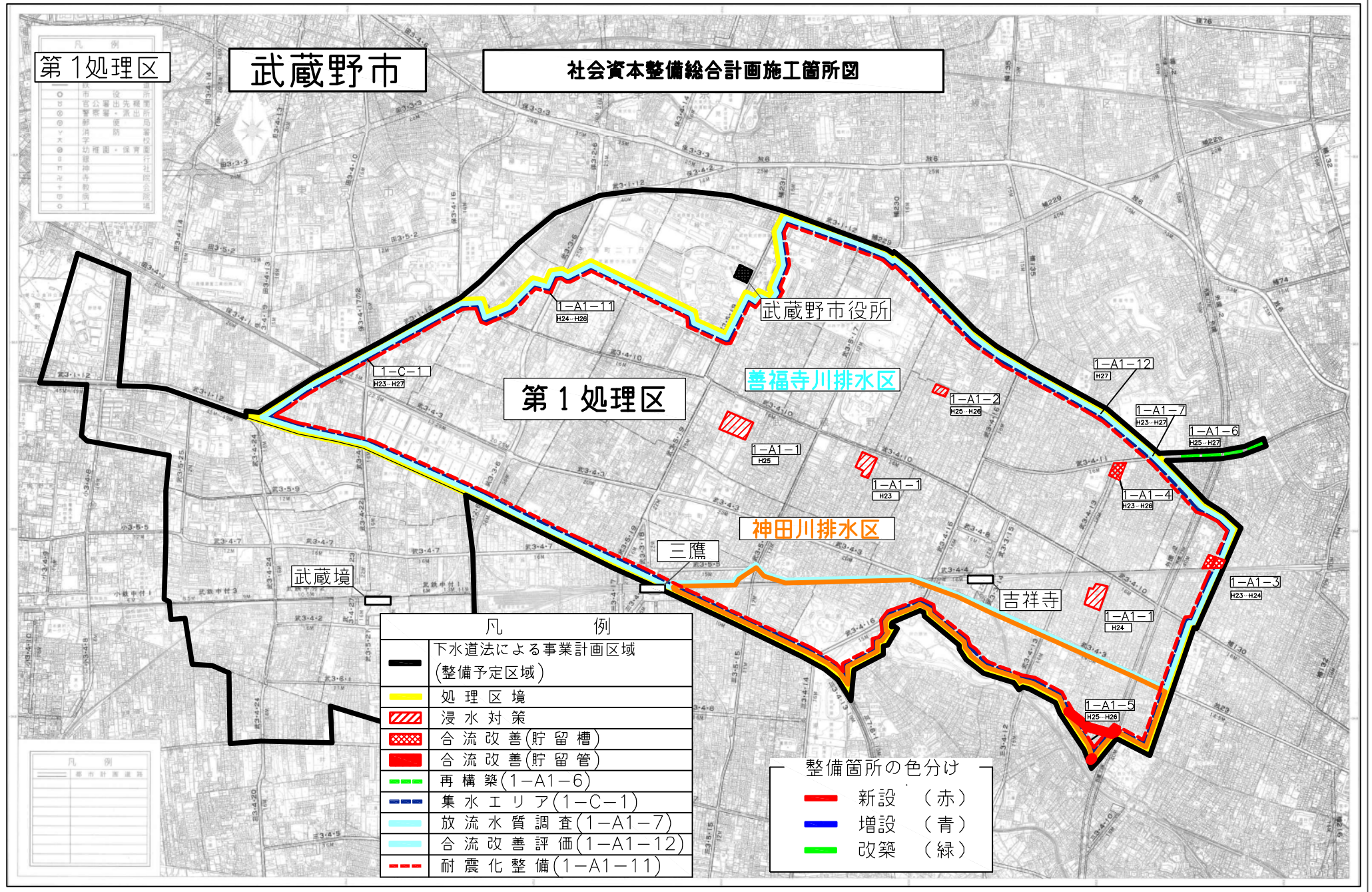
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・雨水貯留施設及び雨水貯留浸透施設の設置等により、浸水被害の多かった地域住民の安全・安心な生活環境が向上した。 ・合流改善施設の設置等により、放流先水域の水質改善、公衆衛生上の安全確保及び悪臭発生の低減等を図ることができた。 ・雨水管の整備を行うことにより、浸水被害のない快適で持続可能な生活環境の確保が図られた。 ・老朽管渠の再構築を計画的に行うことにより、管渠の延命化を図るとともに、ライフサイクルコストの低減と更新時期の平準化が図られた。 ・重要な管路施設の耐震化を行うことにより、震災時における避難所等の安全確保と緊急輸送道路等の機能確保を図り、都市活動の継続性を保つことができた。				
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（浸水対策率）	最終目標値	100.0 %	目標値と実績値に差が出た要因	小中学校への雨水貯留浸透施設の設置箇所数 【最終目標】18/18箇所 【当初】9/18箇所 + 第1処理区3箇所、第2処理区1箇所に設置 ⇒ 【最終実績】13/18箇所 第2処理区については、下水道浸水被害軽減総合計画の策定を検討していたが、結果的に対象事業の要件に該当せず、H27年度からの事業開始となったため、実施箇所数が減少した。 第2・第3処理区については、H27年度より社会資本整備総合交付金の河川事業（流域貯留浸透事業）として実施し、平成31年度には全18校に設置完了予定。	
		最終実績値	72.2 %			
	指標②（合流式下水道改善率）	最終目標値	100.0 %	目標値と実績値に差が出た要因	合流式下水道改善済みの区域面積 【最終目標】727/727ha 【当初】187/727ha + 540ha改善 ⇒ 【最終実績】727/727ha	
		最終実績値	100.0 %			
	指標③（雨水管整備率）	最終目標値	82.8 %	目標値と実績値に差が出た要因	石神井川排水区第1分区の雨水管整備延長 【最終目標】7,744/9,350m 【当初】7,244/9,350m + 整備延長0m ⇒ 【最終実績】7,244/9,350m 関係機関、土地所有者等との調整により石神井川排水区雨水幹線事業の工事期間がH26～H28年度となり、供用開始後に雨水管整備延長435.5m（本計画値より64.5m減）を計上予定のため。 H28年度末には整備が完了し、7,680/9,350m（82.1%）となる予定。	
		最終実績値	77.5 %			
	指標④（老朽管きょ再構築率）	最終目標値	6.3 %	目標値と実績値に差が出た要因	老朽管渠の再構築延長 【最終目標】5,200/81,990m 【当初】4,326/81,990m + 482mを改築 ⇒ 【最終実績】4,808/81,990m H24年度に策定した武蔵野市下水道長寿命化計画では、計画期間をH25～H29年度、計画延長を814m（本計画値より60m減）とし、これに基づき管渠再構築事業を実施しているため、途中年度（H27年度末）では5.9%（4,808m）となる。 H30年度まで計画期間延長予定のため、H30年度末までには5,140/81,990m（6.3%）となる予定。	
		最終実績値	5.9 %			
	指標⑤（耐震化整備率）	最終目標値	98.0 %	目標値と実績値に差が出た要因	管路施設の耐震化箇所数 【最終目標】842/859箇所 【当初】673/859箇所 + 186箇所を耐震化 ⇒ 【最終実績】859/859箇所 武蔵野市下水道総合地震対策計画に基づく耐震化箇所（交付金対象）は169箇所であるが、この他に市が耐震化を必要とする箇所が17箇所あり、その17箇所についても期間内に耐震化を行うことができたため。	
		最終実績値	100.0 %			
	Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・善福寺川排水区内の浸水地域において、雨水貯留施設等の浸水対策を実施したことで、浸水被害の軽減が図られ地域住民の要望に応えることができた。 ・市立小中学校にマンホールトイレ（11校×2基）の設置を行ったことにより、震災時におけるトイレ機能及び避難所の良好な生活環境を確保することができた。			

3. 特記事項（今後の方針等）

平成26年度に改定した下水道総合計画（2014）に基づき、今後も引き続き事業を確実に実施していくため、社会資本総合整備計画「武蔵野市第2期下水道計画の推進」（平成28～29年度）を作成し、ハード・ソフト両面から浸水対策を推進し、水害に強い都市をつくるとともに、雨水流出の抑制を図り、水環境の保全・創出に努めていく。また、計画的、効率的に老朽管渠の再構築に取り組み、下水道サービスの安定性を確保し、安全で快適なまちづくりを実現していく。

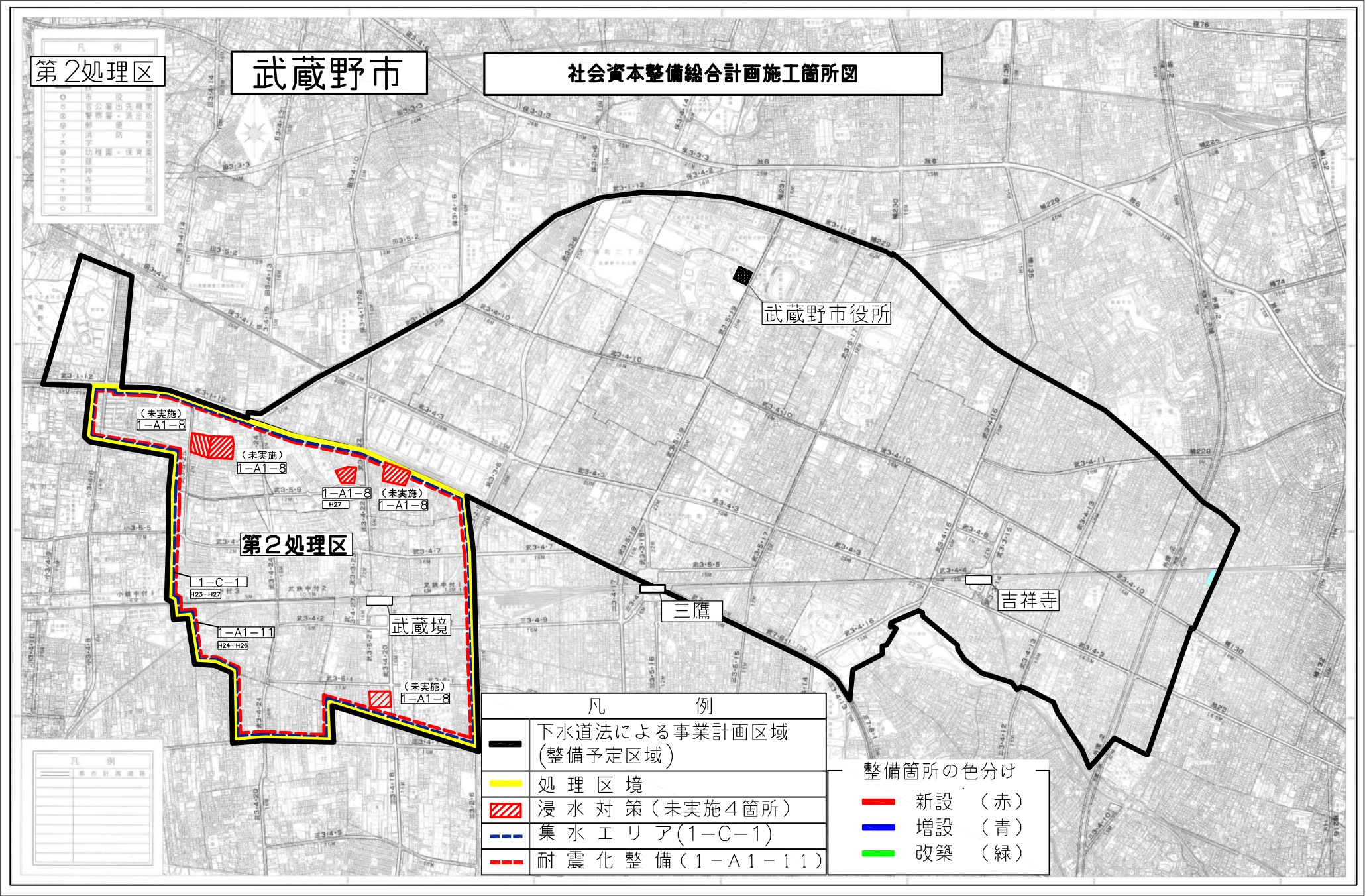
水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 武蔵野市下水道計画の推進		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	東京都武蔵野市



水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 武蔵野市下水道計画の推進		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	東京都武蔵野市



水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 武蔵野市下水道計画の推進		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	東京都武蔵野市

